



ESC 情報



秋の空に思うこと

9月初旬、出勤するため自宅駐車場付近を歩いていると鈴虫の音が聞こえてきました。9月前半は台風15号通過に伴う残暑で暑い日もありましたが、着実に季節が変わっていくのを感じております。

今年は昨年に比べ台風の発生数は今のところ多くはないですが、西日本や関東など大きな被害が発生しています。昨年の北海道を通過した台風21号もそうですが、勢力の大きいまま上陸し、被害を出す頻度が多くなっているように感じます。被害にあわれた皆様にお見舞いを申し上げますとともに、早期に復旧し、一日も早く日常を取り戻せるよう、お祈り申し上げます。

さて、10月ともなれば、季節もよくなり登山をする人も多くなると思います。北海道には熊の出没するところも多くあり、登山やキノコ採りにおいては十分な注意が必要となります。しかし、熊は山にいるばかりではありません。弊社の本社工場のある江別市西野幌地区は、野幌森林公園に隣接しており、今年は78年ぶりに熊の存在が確認されました。

最初は4月22日に北広島市で熊の目撃情報があり、その後しばらくは大した情報は出てきませんでしたが、6月から7月にかけては森林公園内各所やその周辺で目撃情報や痕跡その他の情報が多数上がるようになりました。このため、弊社においても早朝に出発するときや夜間に会社へ戻ってくる際には周囲の状況に十分注意するよう注意喚起を行ったり、昼休みの散歩を行う際にも単独行動を控えるなど呼びかけを行いました。幸い社員が熊と遭遇するような事態にはなりませんでしたが、セラミックアートセンター付近では熊の痕跡が見つかるなどしておりましたので、暫くの間は熊の動向について江別市のWEBページを頻繁に確認するなどして情報収集に努めておりました。

8月に入ると一時的に目撃情報が途絶え、「山に戻ったのではないか？」と憶測が出るようになりました。しかし、8月後半からまた目撃情報や畑の食害が確認され、9月5日に北広島市で罠により捕獲され、駆除が行われました。この個体がおそらくはこれまで確認されていたものと思われる。執筆時点では最終的な安全宣言は出されていませんが、早々に安全確認がなされることを期待しています。

札幌市南区においても同時期に熊による畑や民家の庭において食害が確認され、最終的に捕殺されております。

今年は例年になく熊の活動が活発なようです。レジャーで、または業務において山に入る機会が多い方もいらっしゃると思います。降雪前の時季が繁忙期かと思いますが、安全に十分配慮し、事故無く過ごしていきましょう。



代表取締役 向井 潔

台風15号に思う

昨年9月に北海道胆振東部地震と台風が襲来しそれからほぼ1年が経過して、本州縦断の台風15号が来ました。東京電力殿の管内、特に千葉県では鉄塔が倒れ、電柱が折損し、全国から非常電源車を200台以上集め大勢の技術者を動員したにも関わらず襲来から5日が経っても、完全復旧までは未だ相当の日数を必要とするとの事です。

電気関係の仕事をしている弊社としてもご苦勞の程はお察しします。とても他人事とは思えません。電気がなければテレビで情報も得られず携帯電話の充電も出来ず時間の経過と共に水道も止まり、生活が困窮します。



取締役相談役 向井 隆

原因は種々考えられますが、現地の作業員は精一杯苦勞して復旧作業をされており、努力も限界に来ている事でしょう。遠い北海道から心で祈るしか無いのは残念です。

大災害の後、仮設住宅が建設されるのは有り難いことです。只、「仮設住宅は2年間の期限付きで胆振の震災は来年の今頃には退去することになっている。」とテレビで観ました。

多くは高齢者で家を建設出来る目処が立たない状態の由。この仮設住宅を撤去してもその後の価値も如何ほどでも無く、撤去費用も掛かるので、出来ればもう少し手直しして長く居住出来る様行政は配慮して欲しいものです。

多くの台風は上陸と共に気圧も上がり勢力が落ちるのですが、台風15号は気圧が低く強いまま房総半島まで進行し、電柱折損等の被害が発生。半島の先端までの復旧は困難だった事と思います。

決して他人事とは思わないですが、無事に復旧され普通の生活に戻ることを祈っています。



 西札幌変電所 187kV制御保護盤他取替工事(2017～2019年度)を終えて 

2017年5月から着工した3か年工事が、2019年9月をもって無事に竣工を迎えました。このような大きな工事に携わることはとても希少な機会ですので大変有難く思います。

本工事では遠方監視制御装置を初めとして制御盤・保護継電器盤・キュービクルといった制御機器の取替作業を実施しました。「停電作業」というあらゆる制約がある中での切替作業は各々の担当者に掛かる負担も大きく、気の抜けない作業が連続しました。誰も体調を崩すことなく万全の体制で作業出来たことを本当に嬉しく思います。

2018年の北海道胆振東部地震では西札幌変電所には大きな被害はなかったものの、当時予定していた作業は全て延期となりました。変電所内の機器に大きな損傷を受けることがなかったため、延期しながらも作業を継続することが出来ましたが「供給支障」について深く考えさせられた災害でありました。

今回は諸先輩たちの構築した制御システムを一新しました。本工事で構築したシステムも今の若い技術者の方たちにいずれ更新されていくことでしょう。その時が来るのが切なくもあり楽しみでもあります。

最後に今回お世話になりました工事関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も安全第一に品質の高い仕事を提供出来るように努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

第1技術部 電力システム課 西海 孝一





火力発電所定期検査作業について



東日本大震災以前、火力発電所の定期検査は各発電所がシリーズに工事を実施できるよう計画されていたと感じていましたが、震災後は各発電所で定期検査工程が重複したり、定期検査工程そのものが短期間化されてきたと感じております。また最近では、弊社が受注できる大規模工事が少々影を潜めており、そのような中で元請業者として北海道電力様よりいただいている作業は、以下のような延命化作業となります。最近受注させていただいた作業は、以下のような内容が多くなっております。(作業対象は、自社製品以外も含む)

- ・ 補助盤内の補助継電器類の取替
- ・ 保護継電器等の定期試験
- ・ 各変換器類の定期試験
- ・ 不具合箇所の調査、解消
- ・ 新装置と既存装置の取合部の調整改造、工事
- ・ 自社納入製品の改修

補助継電器類の取替作業では、使用される電源が回路毎に区分けされているため一括停電が来ず、一部活線作業を伴います。なかなか気の抜けない作業でもあります。

定期検査工事の中で、毛色が変わったものと言え、2015年に実施した、森発電所の所内動力変圧器の1次側(6.6kV)の仮設工事がありました。


所内C u b (6kV)取替期間中に、所内電源を確保する為、弊社にその所内電源の仮設工事の依頼があり、工事用の仮設C u b (6kV)をレンタルし、お客様のご要望に答えることが出来たと思っております。

また、昨年は苫東厚真発電所で弊社のO F R盤の設置工事、更に知内発電所で系統安定化装置の設置に携わりました。どちらも大がかりな工事ではありませんでしたが、系統に関わる仕事であったため常に緊張感を強いられました。


本年は、苫東コールセンター様よりページング装置更新の業務を受注させていただきました。これは土木工事も伴うもので、現地での作業工程調整に苦慮する作業となっております。

以上の様な状況ですが、困った時の「北海道電気技術サービス」として、お客様の中で浸透していただいているおかげで、作業的に難しい案件や緊急の案件の依頼も増えてきております。人材不足もあり全てに対応することは出来ませんが、少しでもお役に立てればと考えております。

第2技術部 豊岡 康裕



第7回親睦ソフトボール大会を終えて



2019年9月14日(土)、今年も親睦ソフトボール大会が行われました。昨年は震災の影響もあり、開催は見送られましたが今年は無事開催することが出来ました。参加チームは北海道電力様・電制様・北海道タツヲ電気様そして弊社の4社で、結果は優勝が北海道電力様、準優勝が電制様、弊社と北海道タツヲ電気様がそれぞれ3位と4位になりました。決勝戦では、5イニングを過ぎてても決着がつかず延長戦にもつれ込む熱戦となりました。


また、今年の敢闘選手賞には弊社電力システム所属の菊地が見事選ばれました。菊地は攻守共に活躍し、北海道タツヲ電気様との試合では、ランニングホームランも飛び出しました。

試合終了後の親睦会では、4社が集まり普段顔を合わせる機会の少ない人達とも交流することが出来ました。食事やお酒を楽しみながら、仕事の話からプライベートな話まで様々な話を聞くことができ、貴重な時間を過ごすことが出来ました。


今回は満足のいく結果とはなりませんでしたが、スポーツを通して社内外の親睦を深めることが出来ました。来年こそは優勝目指して頑張りたいです。



第1技術部 制御システム2課 大谷 剣司



島牧配電塔 逆潮流対策改造の安全パトロールに参加して



9月26日(木)天候は晴れ。【島牧配電塔 逆潮流対策改造】で私を含む6名で現地工事中の現場に訪問し安全パトロールを実施しました。

現場ではバンク逆潮流保護盤が据付され、現地試験作業を行っているところでした。作業場はしっかり養生され、屋内は床面にブルーシートを敷き防汚対策もされており、さらには作業スペースの関係上、入口に置かれた試験機材のコネクタ部に足がぶつからない様セーフティーコーンを置くなどの安全対策がなされたうえで順調に作業が進められていました。特筆すべき点として、はんりを利用して仮設トイレを支持していたのですが、はんりの支持部にウエスを巻きつけてから鎖や番線を巻き付けるなどの工夫がされており、お客様の持ち物に絶対に傷をつけないという気持ちがみられました。不安全行動となるような指摘事項はありませんでしたが、万一に備えるという事で一次下請負業者ではありますが「緊急連絡体制表の掲示」、「救急箱の携行」の2点を指摘して終了しました。

全体を通して、普段私たちが作業の為出入りさせていただいている現場はお客様の私有地であり、決して迷惑をかけてはならないのは当然ですが、今回の安全パトロールで見られた仮設トイレ支持部の保護については、普段から意識していなければできない行動であり、自分が作業している現場への技術担当者の気配りを誇らしくも感じました。このようなちょっとした気配りは今後も継続していただきたいと思っています。

最後に現場作業中にもかかわらず、安全パトロールにご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

営業部 高橋 博和



秋の新そばの季節になりました。北海道はそばの名産地。各地に有名なそばがあります。紅葉を楽しみながらドライブ、有名どころのそば屋さんを見かけるとついつい立ち寄ってしまいます。はしご酒ならぬ、はしごそば。食べすぎの後悔よりも満足が勝ります。北海道のそばはそれほど素晴らしいのです。

ある時、用事がありJRで札幌に出向きました。事を済ませ帰途に、札幌駅へ向かいます。時刻は夕暮れ、夏は過ぎておりまして、雲は高くに在り素晴らしい天気。このまま帰るのはもったいない。ふと見かけると、一軒のそば屋さん。吊るしてある看板は「晩酌セット」の文字。お酒2杯に小鉢が3つ、締めそば。素晴らしい、迷わず入ります。客入りはそれなり、これから混んできそうな予感。カウンター席がありましたのでそちらへ。

元気よく「晩酌セット」を頼みました。締めはもりそばをチョイス。

楽しみでホクホクしながらおしぼりで手を温めます。

待っていると、やはり混んできたようです。長居は無用とそば屋のマナーを思い出します。

「おまたせしました」と声がかかります。待ってました！見上げると優しい顔のお兄さんです。

手に持っているのは、もりそば一枚？

どうやら勘違いで締めのそばを先に持ってきたようです。酒より先に締めが。ここでクレームは無粋です。せっかくのそばがまずくなってしまいます。「ありがとう」そのまま頂くことにしました。思った通りおいしいおそばです。

「おまたせしました」とまた声。こんどはお姉さんがビールと小鉢のお盆を持ってきました。

「あっ、すみません」とお姉さん、すぐ気づいたようです。どうしたらいいのかオロオロしています。

これもそのまま頂くことにしました。キンキンに冷えたビールはおいしいです。

小鉢には好物の切り干し大根、これで私は全て許します。

さらに混んできたため、早めに店を出ました。夕暮れはまだ続いています。満足感を長く味わうためにすこしゆっくり歩きました。

総務課 小林 正幸

ESC 情報NO. 151 秋季号



発行所 北海道電気技術サービス株式会社

〒069-0832

北海道江別市西野幌 120-8

TEL(011)384-8888 FAX(011)384-8889

<http://www.hesc.co.jp/> e-mail:hesc@hesc.co.jp

発行者 向井 隆

編集者 総務課